

関東地区用地 対策連絡協議会

用地補償業務功労者座談会特集



県水戸土木事務所用地課

國安 直哉 主査

【略歴】 1966年生まれの56歳。92年度に茨城県入庁。用地関係の部署には計14年間在籍。高萩土木事務所4年、大子工務所3年、土木部用地課4年、水産振興課2年、水戸土木事務所1年で県土強化に貢献している。趣味ではドライブを楽しむ。

「さまざまな人たちと携れる
一つの魅力に」



県鹿行県民センター建築指導課

栗林 基 副参事

【略歴】 1963年生まれの59歳。92年度へ茨城県入庁。用地関係の部署には計11年間在籍。土浦土木事務所3年(用地2年)、用地課5年、竜ヶ崎工事事務所2年、常陸太田工事事務所2年で手腕を振るう。趣味は登山やジョギングで、アクティブに体を動かす。

「諦めず定期的に訪問
粘り強さも大切」



県水戸土木事務所用地課

板倉 吉昭 副主査

【略歴】 1960年生まれの63歳。81年度に茨城県入庁。用地関係の部署には計14年間在籍。鉾田土木事務所(5年)、高萩土地改良事務所(4年)、鹿行農林事務所(2年)、水戸土木事務所(3年)において県勢発展に尽くす。休日には旅行のひとりでリラックス。

「後輩達が相談しやすい
環境づくり必要」



県常陸太田工事事務所

小山田 拓児 副参事兼次長兼
契約用地課長

【略歴】 1964年生まれの59歳。85年度に茨城県庁入庁。用地関係の部署には計17年間在籍。水戸土木事務所(担当3年、課長3年)、潮来土木事務所(課長2年)、鉾田工事事務所(担当5年、次長3年)、常陸太田工事事務所(次長1年)で県土整備に貢献。趣味はゴルフや麻雀をたしなむ。

「誠心誠意に対応
相手はしっかり見てくれる」

「受賞に当たっての所感」

栗林 表彰の栄誉に浴したことを大変うれしく思っている。今まで丁寧に指導してくださった諸先輩方に感謝申し上げます。

國安 皆さんに追いつくと思っ
て取り組んできた結果、こ
のような賞をもちつことがで
きうれい。皆さんに感謝し
たい。

板倉 皆さん親切でいろいろ
教えてもらったことが受賞に
つながり、大変感謝している。
小山田 栄誉ある表彰を受け
たことは、先輩・同僚・後輩の
一若手職員へのアドバイスにつ
いて

小山田 相手は、最初に電話
で印象付ける。それから来て
みて身なりや話し方、姿勢を見
られる。私は、先方に赴く際
には必ずスーツでネクタイを締
めていた。契約時には、大安が
友引もしくは先勝の日にしか行
かなかった。若い人に言えるこ
とは当たって砕けるの気持ち
を少し持つてもらい、誠心誠意
に対応すれば相手はちゃんと見
てくれることだと思う。

栗林 時代と共に用地買収の
雰囲気もかなり変わっている。
バブル期は、粘れば価格が上
がるかもしれないという雰囲気
もあったが、今ではそんな無茶
な要求をする人は、いなくな
った印象。だからこそ、若い人
にはこじこしないで積極的に地
権者のところを回ってほしい。

また、用地買収には取引のトラ
ブルがつきまわ。裁判の可能
性を念頭に置きつつ、説明すべ
きことは説明し、記録すべきこ
とは記録することが大切だ。

小山田 やる気のある職員は
宝だから育てていかねばなら
ない。今の優秀な若手は、分
からないことがあは聞いてく
る。私が若いころ、知ったか

ぶりに聞かないことがあつ
た。今思えば聞いてしまえばよ
かった。分からないまま教育す
る立場になってしまうと、若い
人もついてこなくなる。

國安 前より減ったとは言
え、水戸土木は用地交渉員が多
いので、相談できる人も多い。
相談できる人が少ない事務所の
若手はかわいそうだ。

小山田 用地交渉は相手がサ



用地のプロが魅力を語った

フリーマンであることが多く
平日の夜からの交渉が多くな
ってしまつ。一番用地業務は辛い仕
事でもあるため、従事する人に
何かインセンティブと言っか
やりがいのある仕事であるこ
を伝えるにはどうしたらいいの
か検討する余地がある。

「最後に、事業者との連携につ
いて」

國安 少し用地買収から離れ
ていたため、根拠が細かく分
かっていない部分がある。事業
者は知識量が豊富なので、こ
ういふ考えで補償額を算定した
というアドバイスをしてもら
えたりやすくなる。私も
自信を持って地権者に説明が
できる。

板倉 とても頼りになる存
在。もちろん自分で調べられる
ところは調べるが、それでも分
からないことがあは教えて
もらいたい。

小山田 両先輩が仰るよう



今後も用地業務を通じて県土整備に貢献していく

にわれわれに足りないノウハ
ウをアウトソーシングするこ
とで業界には助けをもらって
いる。われわれも勉強を重ねる
が、業界も勉強を積んでもら
い、地権者が納得できる材料を
一緒に作ってきたい。

栗林 地方公共団体の用地職
員は、中堅から若手までの職員
がとて層が薄い。経験や
知識の継承がうまくいって
いないと感じる。そうすると、事業
者の方が知識と経験が圧倒的に
厚みがある状況。先ほど小山田
さんが仰ったように、事業者が
県をリードしてレクチャーし、
きちんと成果物をあげてくれる
ことが大事だと思う。

支援・協力があったこと。ま
た、1から出直すつもりで努
力、邁進していきたい。

一日の業務で心掛けてい
く、印象深いことは

小山田 難航したところは印
象深い。中には54回も交渉を重
ねた方もいた。心掛けという点
では理解を求めることが困難
であっても、誠心誠意尽くす
に限る。こちらの誠意が相手に
伝わったとき、納得して判子
を押してもらえ、交渉が妥
結したとき、やりがいを感じ
る。

國安 地権者皆さんには
私が知っている限りのことを誠
実に話そう心掛けています。こ
ちらから言いづらい部分もし
かり説明し、できないことは謝
る。苦しい場面も確かにある

栗林 心掛けていたことは
仕事はどんどん進めて手元で温
めたい。相手のある仕事なの
で、交渉が難しい方も中には
いるが、定期的にきちんとして
行くことを念頭に置いてい
る。また、相手に伝えるべきこ
とは伝えることも大事。諦めず
に行けば、何とかするので粘り
強く取り組むことも大切にな
る。

國安 地権者皆さんには
私が知っている限りのことを誠
実に話そう心掛けています。こ
ちらから言いづらい部分もし
かり説明し、できないことは謝
る。苦しい場面も確かにある



5月10日にさいたま新都心において表彰式が挙行された

「用地の魅力とは」

國安 苦しい地権者はかりで
なく、話していて楽しい場面も
多くある。いろいろな人と携わ
れることによって、さまざまな
話を聞けて勉強できることは一
つの魅力だと感じている。

板倉 私もしほく用地を離
れていたが、改めて用地に携わ
るといろいろな人と接すること
になるため、「こんな考え方も
あるんだな」と非常に勉強に
なっている。

栗林 私は土地をかう方では
なく売る方も携わっていたこと
があるが、売る方は売れない時
は全然売れない。需要がないこ
とあるのか分らない中でやみく
もに歩き回ることもあった。そ
の点、用地は目的も相手もは
っきりしている。

小山田 用地の取得業務は、
必ずしも誰もが好きでこんで執
務にあたる業務ではないと思っ
ていたが、実際に携わってみて
同僚と苦楽をともにし、一丸ど
なって仕事に取り組んだ時に仕
事の面白味を知った。工事担当
者を含め一緒に頑張って苦楽を
ともにした仲間とは、10年20年が
経ってもいつでも話ができる真
の友人となっている。

用地が好きで、嫌いな人の
2つに分かれると思うが、ここ
にいる皆さんは懇切丁寧に誠心
誠意尽くしてきた人ばかり。苦
楽を乗り越えてきたからこそ、
用地の面白味や魅力が分かった
のだと思う。表彰式の際の受賞
者たちの顔をみると、皆さん
顔が生き生きとしていて共通
するものがあった。用地への思
いは皆さん同じだと感じた。